

家庭学習の手引き(小中学校連携版)



小学校・中学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。学校では、一斉指導だけでなく個別指導やT T (ティーム・ティーチング) など、「個に応じた指導」の取り組みなどを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することにより、さらにその力が何倍にも高められます。

よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に貼っていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

◎各学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ① ひらがな、かたかなの清音が読めて書ける。
- ② 助詞(て、に、を、は)を適切に使って文章が書ける。
- ③ 80字の配当漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。
- ④ えんぴつを正しくもって字が書ける。
- ⑤ たし算・ひき算ができる。

「10才の壁」を破る4年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。
- ② 中心となる語や文をとらえて読むことができる。
- ③ 国語辞典や漢和辞典を使って知りたいことが調べられる。
- ④ わり算の筆算ができる。
- ⑤ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑥ 文章題の意味が分かり、式をたてることができる。
- ⑦ コンパスを使って簡単な作図をすることができる。
- ⑧ 地名が調べられ、47都道府県を覚えらる。

自分に合った学び方を身につける中学1年生

- ① 小学校で習った漢字の9割程度が書け、中学1年で習う漢字の8割程度が読める。
- ② 5W1Hやキーワードをとらえて文章を読んだり、話を聞いたりできる。
- ③ 「正の数・負の数」「文字の式」「方程式」の計算ができる。
- ④ 「長さ・面積・体積」を求めることができる。
- ⑤ アルファベットの大きく・小さくが正しく書ける。
- ⑥ 基本的な文の構文が分かる。
- ⑦ 世界の主な国々の特徴がだいたい分かり、人々の生活との関連がわかる。
- ⑧ 実験などについて、なぜそうなるのか理由を示しながら説明することができる。

習慣を定着させる2年生

- ① 160字の配当漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。
- ② 教科書がすらすら読める。
- ③ 順序よく話をするができる。
- ④ 九九がすらすら言える。
- ⑤ たし算とひき算の筆算ができる。
- ⑥ 決められた長さの直線を正しく引ける。



学力向上は家庭学習の習慣化から

学力の差がつく5年生

- ① 185字の配当漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。
- ② 習った漢字を使った熟語の9割程度が正しく読め、8割程度の漢字が正しく書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分数のたし算やひき算・かけ算・わり算ができる。(約分した形で答えが出せる。)
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。

苦手教科を克服する中学2年生

- ① 中1までの漢字の9割程度が書け、中学2年で習う漢字の8割程度が読める。
- ② 考えの根拠をはっきりさせて、文章を書いたり話したりできる。
- ③ 「歴史的仮名遣い」が正しく読み書きできる。
- ④ 「連立方程式」「一次関数」が分かる。
- ⑤ 「三角形の合同条件」を活用して証明ができる。
- ⑥ 英語の時制が正しく使い分けられる。
- ⑦ 地図・グラフ・資料などを読み取ることができる。
- ⑧ 歴史の流れをつかみ、時代の特色を説明することができる。
- ⑨ 実験の結果について、そうなる理由を説明することができる。

分岐点をのりこえる3年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。
- ② 国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ③ 筋道を立ててわかりやすく話したり、書いたりすることができる。
- ④ ローマ字の読み書きができる。
- ⑤ 余りのあるわり算ができる。
- ⑥ かけ算の筆算ができる。
- ⑦ 重さをはかり、表すことができる。
- ⑧ 千万の位までの数を読んだり、書いたりすることができる。

中学校への扉をたたく6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割程度の漢字が書ける。(6年生の配当漢字は181字)
- ② 比を使った問題を解くことができる。
- ③ 様々な文章の内容をとらえながら、読むことができる。
- ④ 世界のおもな国々の位置を、正しく示すことができる。
- ⑤ 歴史上の事件や人物について、だいたい分かり、話すことができる。
- ⑥ 理科の基本的な原理や法則が分かり、実験道具の正しい使い方を知っている。

自分の進路を拓く中学3年生

- ① 中学校までで習った漢字のすべてが読め、常用漢字の8割程度の漢字が書ける。
- ② 主な慣用句・ことわざ・故事成語・古語がだいたい分かる。
- ③ 「三平方の定理」や「相似」を活用して長さや角度を求めることができる。
- ④ 動詞の活用が分かり、正しく使うことができる。
- ⑤ 中学校で習った単語や基本文を理解し、長文を読み解くことができる。
- ⑥ 現代の社会の仕組みとあらましがだいたい分かる。
- ⑦ 学んだ自然現象等に関する知識を日常生活に当てはめて活用することができる。